

「みがき合い、支え合い、心豊かでたくましく生きる生徒」 ＜10月の学校経営方針＞

【「実践・改善」の見える化】…教師・生徒の変容（成長）の可視化！

9月は、「体育祭」「授業」「挨拶」をメインに改善を図り、可視化できる成果や改善が得られた。今月もねらいを明確にし、目標設定しながら「何のため」「なぜ」をはっきりさせ行動化できるように取り組んでいきたい。特に「授業改革」については改善案の実践を見える化し、得られた変化を共有することにより、次年度より移行期間に入る新しい学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」につなげていきたい。

【「白山ブランド」の構築のために

(1) 授業改革（主体的・対話的で深い学び）

○明確な学習課題の設定，学習形態の工夫，振り返りの確保

- ・原則として「？」で課題を設定し，問題解決を図る。
- ・一人で考える，ペアやグループで考える，全体で思考する場を設定する。
- ・「何がわかったか？」「何ができたか？」という問いでメタ認知を作る。

(2) 心の教育（道徳，いじめ，生命，思いやり）

○学級経営及び教科経営による「いじめ」対策→「対話的な学び」のススメ！

○相談活動の充実

- ・Q-U検査の結果の変容を意識し，追調査のための具体的な改善策を立て，実践する。
- ・教育相談や進路面接等を活用し，自ら「援助希求」できる生徒を育成する。

(3) 安全安心（健康・体力向上，メンタル，防災，食育）

○冬季トレーニングの組織運営による基礎体力の向上。（個人の達成目標の設定し，取り組む。）

- ・組織運営することにより部活動単位でなく，全校体制で取り組み，来春のシーズンにつなげる。

○校内適応教室の効果的な運用による長欠対策の可視化。

- ・長欠保護者会や長欠進路保護者会等を開催し，連携し支援計画を立案，実践する。

(4) 生徒主体（行事，生徒会，部活）

○2年生主体の生徒会方針を定め，主体的な活動につながる更なる一歩を進める。

○組織運営による部活動支援。

- ・冬季トレーニングとのタイアップも視野に入れ，部活動を組織的に支える。

(5) 三大伝統（挨拶，歌声，清掃）

○「明るく元気な挨拶」→「(あ)・(い)・(さ)・(つ)」を意識し，更なる実践・評価を続ける。

○「美しく響く歌声」→市内音楽会や合唱コンクールを意識した計画的な取り組み！

○「心を磨く清掃」→新しい委員会組織の活用とモデル清掃の映像化！

【「研究と課題」のために

(1) 「自ら、共に学ぶ生徒の育成」～主体的・対話的で深い学びの実践を通して～

○「授業ルール」と「対話的な学び」を意識した校内授業研究の推進。

(2) 課題

○「わかる・できる授業」→生徒指導の機能を生かした授業づくり。

○「インクルーシブ教育」→UDの視点に立った授業づくり。

○「考え議論する道徳」→ねらいに迫るための主発問の吟味。

【「連携推進」のために

(1) 小中連携→校内研修会での連携推進。

(2) 中高連携→進路保護者会及び高校説明会の計画的な運営。